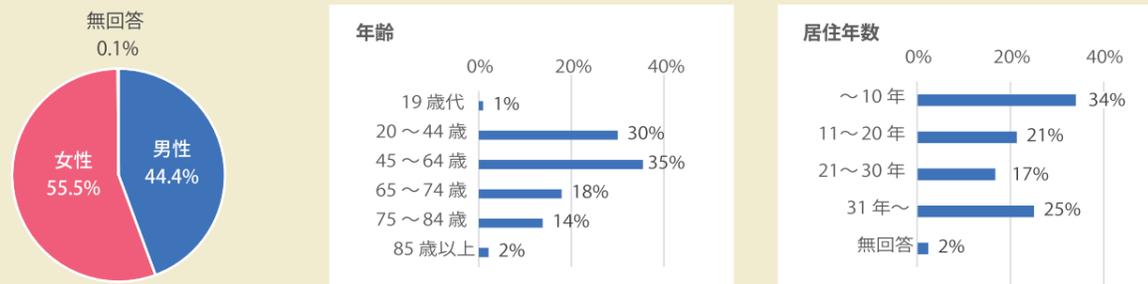


アンケート結果

今回のアンケート調査では、市内に転入されてきた方が比較的多い、11の地区の皆さまを対象に実施させて頂きました。アンケートを回答頂いた方は755名、性別では女性、年代では、45～64歳の回答者数が多くを占めています。居住年数では、10年以内とする方が最も多い一方で、31年以上の方も25%を占めています。

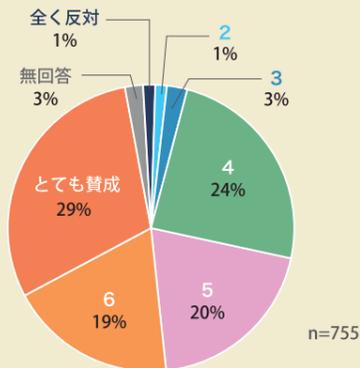


長久手サポートプロジェクトへの意向

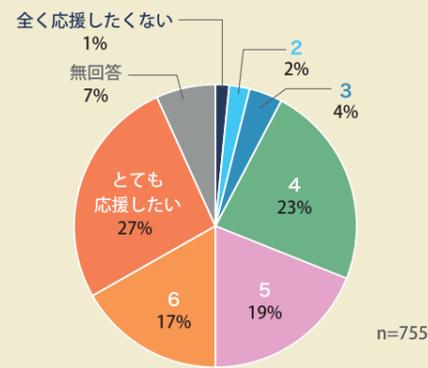
※「全く反対、応援したくない」を1、「とても賛成、応援したい」を7として、7段階で回答者の意向を質問

「長久手サポートプロジェクトをどのように思いますか」という質問には「とても賛成」とする回答が29%を占め、7段階的評価※の中間以上の「5～7」と回答した人を合わせると68%の方がおおむね賛成と回答しています。同じく「長久手サポートプロジェクトで“支援者として参加している人たち”を応援したいと思いますか」という質問では、「とても応援したい」が26%、「5～7」を合わせると63%の方がおおむね応援したいと回答しています。

長久手サポートプロジェクトをどのように思いますか？

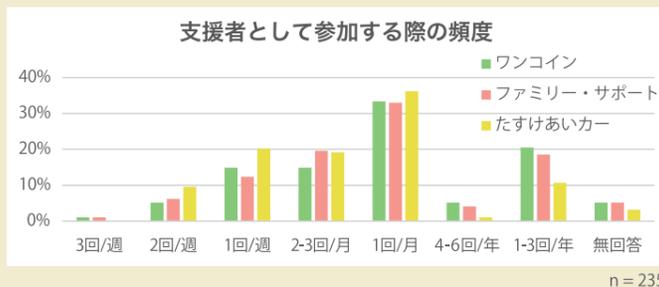


長久手サポートプロジェクトを応援したいか



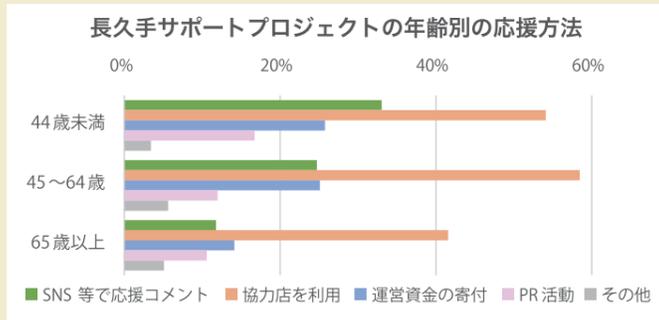
長久手サポートプロジェクトの3つの取組みへの参加意向

それぞれの事業への「支援者」としての参加意向を伺ったところ、ワンコインサービスでは195名、ファミリー・サポート事業では97名、たすけあいカーでは94名の方が、「支援者として参加しても良いと思う」と回答しています。右のグラフは各事業へ支援者として参加する際の頻度を示したものです。どの事業も「月に1回程度」が高い割合を示しています。



長久手サポートプロジェクトの応援方法

「長久手サポートプロジェクトを応援するとしたら、どのような応援ができそうだと思いますか(複数回答)」という質問では、どの年代も「協力店を利用」という回答が過半数を占めていました。また、若年層では「SNS等で応援コメント」の回答が高く、64歳以下では「運営資金の寄付」の回答が、3割近くを占めています。



長久手サポートプロジェクトに関するお知らせ

長久手サポートプロジェクトとは

誰もが助けを求めることができ、誰かの助けになることができる、そんな輪が広がる助け合いのまちにしていこうと「長久手サポートプロジェクト」が立ち上がっています。(R5年4月～) 現在「たすけあいカー」、「ファミリー・サポート」、「ワンコインサービス」の3つの取組を行っています。いずれも支援者ができること、好きなことで参加したり、自分ができることを助けてもらったりして、困りごとの解決が図られています。あなたもプロジェクトの一員になりませんか。



はじめに

令和5年10月に実施しました第2回アンケート調査では多くの住民の皆さまにご回答頂き、誠にありがとうございました。アンケート結果の抜粋は最終ページに記載しています。皆さまから頂きました貴重なご意見は、名古屋大学と長久手市との共同研究活動のなかで、地域の課題共有と今後の支援についての検討に活用いたします。

長久手サポートプロジェクトのアンケート結果

アンケート結果の詳細は、長久手サポートプロジェクトの専用HPに掲載しています。右記のQRコードもしくはURLよりアクセスください。



アンケートへのご協力ありがとうございました。
<https://www.city.nagakute.lg.jp/soshiki/tiikikyouseisuisinnka/chiik>

(問合先) 長久手市役所 地域共生推進課
 〒480-1196 長久手市岩作城内60番地1 電話 0561-56-0551

各事業の紹介

たすけあいカー



現在、市街地から離れており、住民も高齢化している長久手ニュータウンや、北熊や北浦などの住民を対象に東小学校区地区社協が社会実験として運営しているのが「たすけあいカー」です。利用されている高齢者の方は8名、ボランティアドライバー6名で支えています。

北浦にお住まいの高齢者の方を対象に、東小学校区地区社協が運営する「たすけあいカー」でお買い物会を実施しました。

動画はこちら



<https://youtu.be/HISA9klyZuo>

長久手ニュータウンで運行している「たすけあいカー」のボランティアドライバーの方にインタビューしました。

動画はこちら



<https://youtu.be/hklUKwx4pcY>



長久手市にお住まいの水野圭子(みずのけいこ)さん

高齢になると自宅から外出しなくなってしまうので、楽しい時間を過ごしてもらえればと思い、ドライバーに登録しました。高齢者の皆さんの笑顔を見ることが、自分の元気のもとになっています。



長久手市にお住まいの和田和彦(わたのかずひこ)さん

車がだいすきなので、それで誰かの役にたてればと思っていたところ、広報でたすけあいカーの取組みを知り、「ぴったりだ!」と思って、ドライバーに登録しました。感謝の言葉をいただくことが、やりがいになっています。



長久手市にお住まいの加藤公俊(かとうこうし)さん

会社を退職した後、ボランティア活動しようと考えていた時にこの話をいただき、ドライバーなら出来ると始めました。先輩のおばあちゃんの話聞きながらの運転は楽しいですし、「ありがとう」という言葉が励みになります。

問 たすけあいカー

移動に困っている高齢者を、有志のボランティアドライバーが送迎します(市街地から離れており住民も高齢化している「長久手ニュータウン」で実証実験中)。

社会福祉法人
長久手市社会福祉協議会
電話 **62-4700**



対 支援者要件 普通自動車の運転ができる人

申 長久手市社会福祉協議会へ電話で申込。

※事故に備え、保険に加入しています。

ファミリー・サポート



子どもの送迎や預かりなど、地域で子育て世代の手助けをしています。令和5年度では、依頼会員として支援をお願いしている方が48名、援助会員として子育てを支援する会員が34名活動しています。

援助会員登録者数520名 援助会員登録者数92名 両方会員登録者数112名(R6.2.29現在)

ファミリー・サポート事業とはどのようなものなのか、援助会員のお話や、サポーターのお話など事業の概要を紹介しています。

動画はこちら



<https://youtu.be/nAGaxo65aiw>

ファミリー・サポート事業で長年、援助会員をされているおふたりにインタビューしました。

動画はこちら



<https://youtu.be/0IA9nfx5a-l>



長久手市にお住まいの森川佳子(もりかわよこ)さん

“できることを、できる人が、できる時に”が一番だと思っています。私が基本的に最優先するのは「お母さんのリフレッシュ」。体調が悪い時や、美容院に行くとき、短い時間でも、自分ができるタイミングでできることを、隙間時間でやるのが良いのかなあと考えています。



長久手市にお住まいの川本ひとみ(かわもとひとみ)さん

小さな子どもでも、思っている以上に大人のことがわかっています。こちらが構えば子どもも構え、こちらが寄り添えば相手も寄り添ってくれます。あまり気構えずに、チャレンジして欲しいと思っています。その輪が広がって、みんなが「子育ては楽しい」と思えたら良いなあと考えています。

問 ファミリー・サポート

子育ての手助けをしてほしい人と、手助けをしたい人が会員になり、お互いに助け合います。

対象となるのは、概ね生後6か月～小学6年生以下の児童

対 依頼会員 市内に在住、在勤、在学の手助けしてほしい人

援助会員 市内に在住の子育ての手助けをしたい人

両方会員 依頼会員・援助会員を兼ねることができます。

子ども家庭課

電話 **56-0633**

ながくてファミリー・サポート事務所

電話 **64-5280**

申 ながくてファミリー・サポート事務所へ電話で申込。(事前に登録講習会の受講および会員登録が必要。)



ワンコインサービス



日常のちょっとしたお困りごとを「おたがいさま」の気持ちで地域で支え合う取り組みを行っています。令和5年度は、長久手市に在住の151名の高齢者の方が利用しており、35名の支援者で支えています。

ワンコインサービスの支援者のお話や、事務局スタッフのお話など、事業の概要を紹介しています。

動画はこちら



<https://youtu.be/ozHfplREPK>

ワンコインサービスで支援者をされている方にインタビューしました。

動画はこちら



<https://youtu.be/RPkY6g00S64>



長久手市にお住まいの市川進(いちかわすすむ)さん

ワンコインサービスは、高齢者の生活を支えるだけでなく、私たち支援者自身のいきがいになっています。支援者同士の交流も楽しく、仲間ができたことも良かったと思います。自分の時間や能力にあわせ、みんなで助け合う心を育てることができる事業だと思います。



長久手市にお住まいの吉原純子(よしはらじゅんこ)さん

最初は遠慮されていた高齢者の方も、作業が終わるとこんなことも頼んでよいかしらと、次の依頼につながります。最大で1時間という限られた時間なかで高齢者の方と信頼関係ができ、「次もお願いしますね」と言われると、自分の励みになります。



尾張旭市にお住まいの北川康子(きたがわやすこ)さん

スタッフの方のサポート体制がしっかりしているので、活動がしやすいです。はじめて支援にはいった方が、支援を重ねるうちに笑顔も増え、待っていてくれるようになりました。これがやりがいになり、気持ちもほっこりします。

問 ワンコインサービス

日常のちょっとした困りごとを「おたがいさま」の気持ちで地域で助け合います。

長寿課

電話 **56-0639**

NPO 法人つづら

電話 **78-2043**



対 支援者要件 おおむね60歳以上の市民等3人で構成するグループ。(2人以下の場合は長寿課またはNPO法人つづらへ事前に問合せ。)

申 申請書を長寿課またはNPO法人つづらへ提出。